

## 第10回「内航船の日」

# 「海から届ける写真展」開催中

下町のカフェバー「LOBO」で 31日まで

内航海運新聞（令和7年7月21日号）での記事を紹介いたします。以下転載

## 第10回「内航船の日」

# 「海から届ける写真展」開催中

下町のカフェバー「LOBO」で 31日まで

既報のとおり、今年で10年目を迎える7月15日の「内航船の日」を記念したPRイベント「海から届ける写真展」が、全日本内航船員の会の主催により東京スカイツリーのほど近く、「CAFE&BAR LOBO」で開催中だ。店内には、全国の内航船員から寄せられた写真作品が展示され、バーテンダーが考案した内航船の日カクテルを楽しむこともできる。また、近隣のメンズサロンには内航船の日のポスターが掲示されるなど、墨田地域で内航船や内航船員を応援する輪が広がっている。



「内航船の日」とは、内航船が好きで、船員たちと交流してきた陸上的一般市民が、「ナナ・イチ・ゴ」→「ナイロー」であることから、7月15日を「内航船の日」にしようと呼びかけ、2015年に日本記念日協会によって認定されたもの。今年も記念日当日には、SNS上で「#内航船の日」が溢れ、内航船やそこに乗り込む船員たちを盛り上げた。

今年はこれまでの銭湯から会場をカフェバーに移し、12点の作品を展示。全国の船員から寄せられた、海上からしか見ることのできない一瞬の風景を切り取った素晴らしい作品ばかりだ。雄大な景色の数々は、オシャレで落ち着いた店内の雰囲気にマッチ

しており、最初から飾られていたかのような錯覚を受ける。

LOBOのバーテンダー、横山さんは写真展の開催に合わせて内航船の日カクテルを考案。横山さんは、「内航船の日にまつわるカクテルがあれば、来てくれた人に楽しんでもらえるのではないかと思った。バーは敷居が高いと感じる人もいるようだが、写真展がバーに入るきっかけとなって、バーの楽しさを知ってもらえばうれしい」



CAFE&BAR LOBO

### 3種類の「内航船の日カクテル」を考案



と語る。

内航船の日カクテルは ◇あさなみ(朝波) ◇うみかぜ(海風) ◇ゆうみつ(夕蜜) の3種類。内航海運ということから、ベースは日本で一番海に近い酒蔵、福島県浪江町の鈴木酒造店が製造する日本酒「磐城壽」を採用。内航船員を癒す美しい海や空、朝焼けや夕暮れといった景色をイメージした色鮮やかなカクテルが誕生した。

レシピは公開（全日本内航船員の会ホームページの活動資料「写真展チラシ」の裏面参照）しており、全国のどこにいても内航船の日カクテルを味わうことができる。

「なるべくシンプルな構成とした。磐城壽がなければ地元のお酒を使ってもいい。いろいろアレンジで楽しんでもらえれば」（横山さん）。

LOBOはカフェタイムとバータイムで営業。日曜日が定休日。写真展を目的で訪問した際にはワンドリンクの注文をお願いしたい。

また、カフェバー近隣の「メンズヘア NooK」には、内航船の日のポスターが掲示されるとともに、店頭に写真展のチラシを設置。そのほか「大衆食堂ゆきこ」に写真展のチラシが置かれているなど、墨田地域において内航海運を盛り上げる気運が高まっている。

NooKの佐々木耕平さん



\*写真は当会で撮影したものを利用しました。